

7 課題

支給された材料で、課題図（別紙）に示す作品を競技時間2時間30分以内で製作する。

8 表彰

1位（1名）、2位（1名）、3位（1名）を表彰し、優勝者は全国大会に出場する。

9 加工・仕様等

- (1) 支給材料：杉材 105×105×1500 1本、 90×90×750 1本
40×36×1800 1本、 丸釘（45mm）6本（予備2本）
- (2) 垂木は、桁と母屋へ斜め釘打片面として仮留めにする。
- (3) 受台は、小屋梁から斜め釘打両面として仮留めにする。
- (3) 支給材料の欠点は、評価の対象としない。

10 作業条件

- (1) 一次審査は競技時間内で行う。一次審査終了確認まで仮組はしないこと。
- (2) 加工・組立に必要な墨は、すべて付け残しておくこと。
- (3) 競技者が持参する道具は下記のものとし、下記以外は使用不可とする。
のこぎり、のみ、げんのう、さしがね、かんな、くぎしめ、鉛筆（墨さし、墨つぼ使用可）
- (4) 主催者が準備するものは、下記のものとし、下記以外は使用不可とする。
作業台（うま）105×105×600 2本
ベニヤ板（作業床）900×1800 12mm厚 1枚
受台30mm厚、 かけや

11 注意事項

- (1) 公表された課題の屋根勾配は、変更になる場合があるので注意すること。
- (2) 作業に適した服装を着用のこと。

12 審査

審査は、次のように実行委員会で行う。

- 一次審査：きざみ（加工）が終了した時点で審査する。
- 二次審査：作品が完成した時点で審査する。

13 評価の項目

- (1) 一次審査 : ア) 技術度、 イ) 作業状況
- (2) 二次審査 : ア) 組立て、 イ) 技術度、 ウ) 完成度